

アレルギー疾患 医療従事者等研修会 参加者募集

6つの分科会にてアレルギー疾患に関して専門的な知識を有する医師などの監修のもと医療者により、最新の科学的知見に基づいた適切な医療について研修を行います



会 期 講義(オンデマンド配信)

2021年2月12日(金)12:00～2月14日(日)14:00

質疑(Zoomライブ配信)

2021年2月14日(日)14:00～16:05

開催形式 WEB開催 講義：オンデマンド配信／質疑：ライブ配信 (Zoom)
事前に講義を受講し、質疑にご参加ください。

対 象 アレルギー診療に興味のある医療従事者等

研修当番病院 神戸大学医学部附属病院 (兵庫県アレルギー疾患医療拠点病院)

分 科 会	質 疑 (Zoomライブ配信)	講 義 (オンデマンド配信)
アレルギー総論	2021年2月14日(日) 14:00～14:05	配信期間 2021年 2月12日(金) 12:00 ～ 2月14日(日) 16:05
講義▶気管支喘息の病態と治療 質疑▶内科領域	14:05～14:25	
講義▶食物経口負荷試験 質疑▶小児科領域	14:25～14:45	
講義▶アレルギー性鼻炎の診断と治療 質疑▶耳鼻咽喉科領域	14:45～15:05	
講義▶皮膚アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎と蕁麻疹) 質疑▶皮膚科領域	15:05～15:25	
講義▶吸入薬と自己注射薬の指導 質疑▶薬剤・看護領域	15:25～15:45	
講義▶食物アレルギーの食事管理 質疑▶食物アレルギー領域	15:45～16:05	

申込方法

専用サイト <https://www.med.kobe-u.ac.jp/form/allergy/>
または右記QRコードよりお申し込みください。
申し込み時に入力したメールアドレス宛に、研修会の詳細なご案内を
後日お送りします。



申込期限

2021年1月29日 (金)

分科会講義概要

今年度はオンデマンド配信のため、希望する分科会を全て受講できます。
ライブ配信前に受講ください。

気管支喘息の病態と治療

神戸大学医学部附属病院 呼吸器内科 診療科長 西村 善博

気管支喘息は慢性気道炎症を主体とする疾患で典型的な症状としては喘鳴、呼吸困難を伴う喘息発作がよく知られています。しかし、すべての喘息患者が発作症状を示すわけではなく、近年咳嗽が問題となっています。基本治療は吸入ステロイド薬を中心とした抗炎症薬であるが、重症患者には生物学的製剤が用いられるようになっていきます。今回の分科会では、基本的な喘息病態を概説し、治療の基本および生物学的製剤使用の考え方について解説します。

食物経口負荷試験

監修 兵庫県立こども病院 アレルギー科 科長 田中 裕也
講師 ならばやしこどものアレルギークリニック 院長 楢林 成之

小児期の食物アレルギー診療では、正しい食物アレルギーの診断に基づき、食物除去を最小限とすること、安全に摂取できる食物を増やすことが栄養摂取の観点からも重要です。この分科会では、クリニックで食物アレルギーの経口負荷試験の豊富な経験を持つ講師から経口負荷試験の方法やコツなどをお話します。

ご自身が所属される施設でも食物負荷試験が実施できるような知識を身に付けてもらう事を目的としています。

アレルギー性鼻炎の診断と治療

監修 神戸大学医学部附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 井之口 豪
講師 神戸大学医学部附属病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 由井 光子

アレルギー性鼻炎はくしゃみ、鼻水、鼻づまりを主な症状としますが、副鼻腔炎などの他の病気と紛らわしい場合があります。正しい診断を得ることが治療への第一歩です。この分科会では鼻アレルギー診療ガイドライン 2020 に基づいて、アレルギー性鼻炎の診断と治療について学習します。比較的最近登場した抗ヒスタミン薬、舌下免疫や抗IgE抗体などの治療についても解説します。

皮膚アレルギー疾患 (アトピー性皮膚炎と蕁麻疹)

講師 神戸大学医学部附属病院 皮膚科 福永 淳

皮膚に症状が出るアレルギー疾患としては、アトピー性皮膚炎と蕁麻疹が2大疾患です。両疾患においてバイオ製剤を含めていくつかの新薬が登場し、病態の解明も着実に進んでおります。この分科会では、最近のアトピー性皮膚炎と蕁麻疹の治療薬を含めたトピックをアップデートし、医療者が正確にかつ適切に両疾患の病態と情報を知り、患者さんの管理ができるように学習します。

吸入薬と自己注射薬の指導

監修 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 薬剤部長 矢野 育子
講師 神戸大学医学部附属病院 薬剤部 大本 暢子、看護部 蓬莱 節子

喘息やアトピー性皮膚炎の症状を改善させ、より良い日常生活を送っていただくためには、患者さん自身に自宅で薬を正しい方法で投与していただくことが重要です。そのためには、医療者が患者さんに繰り返し指導することが必要不可欠です。この分科会では、吸入薬のデバイスや生物学的製剤の自己注射の特徴を知り、基本的な操作の習得、患者さんが間違えやすいポイントを学習します。

食物アレルギーの食事管理

監修 神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科、栄養管理部長 高橋 路子
講師 神戸大学医学部附属病院 栄養管理部 三ヶ尻 礼子

食物アレルギーは、食物アレルゲンに対する過敏な免疫反応によって引き起こされ、多彩な臨床症状を示す疾患です。食事管理では、症状を起こさないよう安全性を確保したうえで、「適切な栄養素の確保」および「QOL（生活の質）の維持」を図るために「正しい診断に基づいた必要最小限の食物除去」を行う必要があります。この分科会では、食事管理の基礎知識から実施におけるポイントについて学習します。